JT-V115

FM-AM ステレオ チューナー

取扱説明書

―― お買いあげありがとうございます ――

ご使用前に、この「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください

製品の保証

弊社では、お買いあげ後１年間の製品保証を実施いたしております。
本機に添付されている保証書は、特約店で必要事項を記載してからお渡しするようになっております。保証書及びセットに関して不備な点、あるいは疑問な点がありましたらお買いあげいただいたビクター特約店までお問い合わせください。

特約店で必要事項を記載

保証書をお渡ししてから１年間は、修理が無料

保証期間中には、かならず保証書の提示を

保証書は大切に保存を

保証書を紛失した場合には再発行いたしません

保証期間中に修理を依頼されたとき、保証書の提示があれば部品代及び修理工料は無料となります。
なお、保証書はサービス カードとしても利用させていただきますので、保証期間が切れた場合でも大切に保存しておいてください。
（保証書は、原則として再発行いたしませんのでご注意ください）

このような場合は、保証書があっても有料になります。

期限切れ

保証手続きをしていない保証書

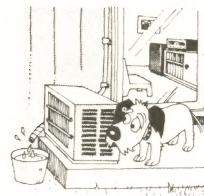
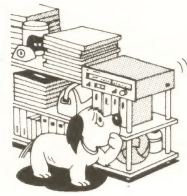
改造、個人の修理

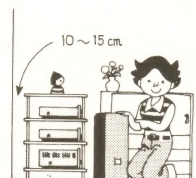
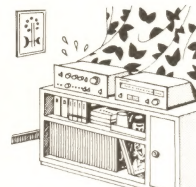
据付後の移動による故障

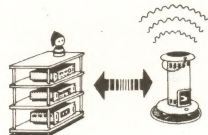
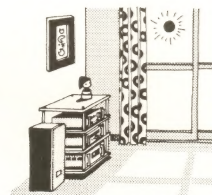
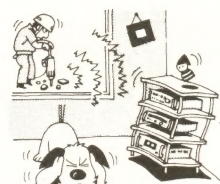
不当な取扱い

ご注意

■ 取扱上の注意

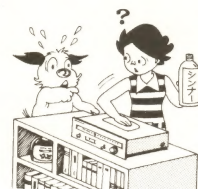
・次のような場所は、できるだけさけてください。

湿気の多い所

不安定な所

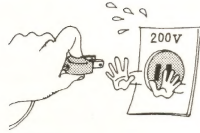
・放熱をよくするため、

壁から 10～15 cm 離します

通風孔は塞がない

・セットに悪影響を与えないため、

暖房器から離れた所

直射日光の当らない所

振動やホコリが少ない所

テレビから離れた所

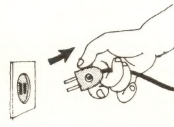
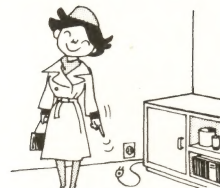
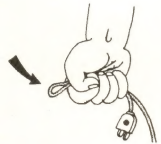
・**外国での使用は？**
本機は日本国内用に作られていますので、放送規格、電源電圧、電源周波数の異なる外国では、使用できません。

・**キャビネットが汚れたら、**
中性洗剤などで汚れを落し、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジンなどの使用は、ひび割れ、変色を招きます。

■ 安全上の注意

・電源電圧は、
交流 100V をご使用ください。

100V 以外は使用しない

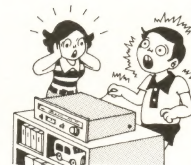
・電源周波数は、
50Hz 地域 または 60Hz 地域でも使用できます。

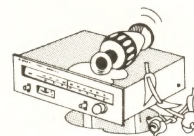
・電源コードを取扱うときには、
次のような点に十分ご注意ください。

濡れた手でさわらない

抜くときはプラグを持って

プラグを抜く習慣を

折り曲げたりしない

敷いたりして傷をつけない

継足しなどはしない

・異物の混入は、
感電や故障の原因になります。
通風孔などからセット内部に縫針やヘアー ピンなどの異物がはいったときには、ただちに電源コードをはずし、ビクター特約店にご連絡ください。
特に小さなお子様のおられるご家庭では、十分にご注意ください。

金属物はさしこまない

・水がはいったときは、
ただちに電源コードのプラグをコンセントからはずし、ビクター特約店にご連絡ください。
セット内部に水がはいりますと感電や故障の原因になりますので、水のはいった容器などはセットの上に置かないでください。

水のはいった容器などは置かない

・セット内部に触れることは、
大きな危険を伴いますので、カバーは勝手にはずさないでください。

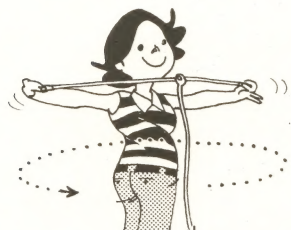
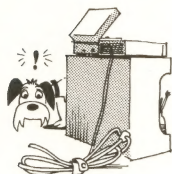
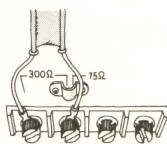
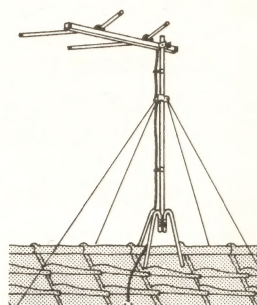
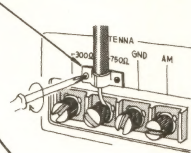
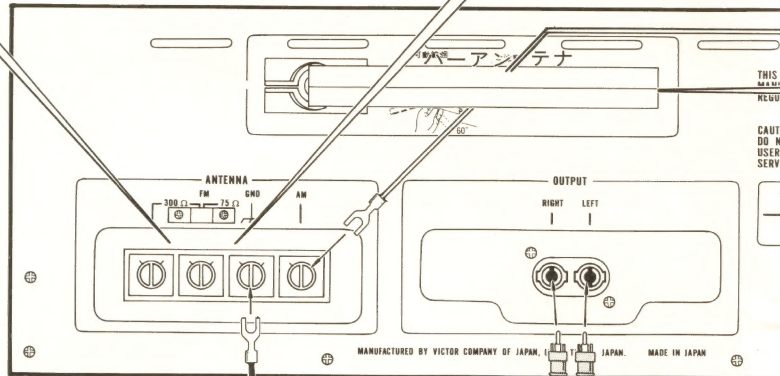
・落雷の恐れがあるときは、
雷の音が鳴りだしたら早めに電源プラグを抜いてください。

プラグは早めに

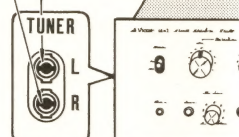
仕

接続図

すべての接続が終るまで、電源コー

■ 添付されておりますFMアンテナはあくまで簡易的なもので、電波事情の良い地域のかたのためのものです。
FM 放送を Hi-Fi(ハイファイ)受信するためには、FM 専用の屋外アンテナをご使用ください。
テレビ アンテナと共用することは、受信状態がむしろ悪くなることが多いので、おすすめできません。

（注）・FM アンテナを束ねたまま床などに放置しないでください。

■ 接続コードは、かならず同じチャンネルどうし（LとL、RとR）をつなぎ、確実にさしこんでください。
さしこみかたが不完全な場合、音がでなくなったり、雑音が発生したりすることがあります。

■ 接続コードをはずしたり、つないだりするときは、かならずアンプ側の POWER(パワー) スイッチを〝OFF〟にしてください。

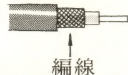
アースの一端を銅板や鉄棒などにつなぎ、30cm 以上の深さに埋めます。

ドはコンセントにさしこまないでください。

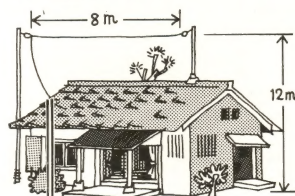
FM 屋外アンテナからセットまでを結ぶアンテナ線としては、**同軸ケーブル（75Ω）**か、または **フィーダー線（300Ω）** が使用されております。一般にはフィーダー線よりも周囲からの妨害に対して強い同軸ケーブル 3C-2V を用いることが多いのですが、電波事情の悪い地域では 3C-2V より更に損失の少ない 5C-2V をおすすめします。

FM アンテナを一番感度の良い方向へ固定するには、FM 放送を聞きながらアンテナをいろいろな方向に回し、SIGNAL メーター の針が右へもっとも大きく振れる方向を捜してください。
また、**マルチパス妨害**（電波が山やビルディングに反射し、少し遅れてアンテナに到来するために起こる妨害）**の一番少ない方向を捜すには、**アンプ側の TREBLE（高音）ツマミを最大、BASS（低音）ツマミを最小にして比較的大きな音をだし、歪音やジュルジュル、またはシューという妨害が最も低くなる方向へアンテナを動かしてください。

同軸ケーブルの接続方法

5C-2V のように同軸ケーブルが太い場合

編線

3C-2V のように同軸ケーブルが細い場合

編線を折り返す

AM 屋外アンテナ

〝物干〟などを利用して 3m～5m のビニール線を張る程度でも十分効果があります。

（注）
AM 屋外アンテナをご使用になる場合には、かならずアース端子にアース線を接続し、大地アースをとってください。（雑音が減ります）

60°
裏面のパネル
バーアンテナ

AM 用アンテナとして、うしろ側のパネルにバーアンテナが付いております。ご使用になる場合、バーアンテナを一度起こしてからできるだけパネルより離し、バーアンテナの向きを変えてみたりしてもっとも受信状態のよい方向をお選びください。

（注）・図のような状態でアンテナをパネルから起こそうとしたり、または反対方向（この場合は、下の方向）に回して向きを変えようとすれば、アンテナが折れてしまいますので、ご注意ください。

アンプ側の〝AC OUTLET〟端子またはご家庭のコンセント（100V、50Hz/60Hz）へさしこんでください。

メインアンプ

アンプ側に〝SWITCHED〟のコンセントがある場合、〝SWITCHED〟の方へさしこみます。

各部名称と機能説明

❶ STEREO インジケーター

FM ステレオ放送を受信しますと、このインジケーターが点灯します。
しかし、FM ステレオ放送であっても SELECTOR スイッチ ❺ が〝FM MONO〞になっておりますと、このインジ
FM ステレオ放送は、SELECTOR スイッチ ❺ を〝FM AUTO〞に切り替えてお聞きください。

❷ POWER スイッチ

レバーをあげて〝ON〞にしますと、メーター及び選局針が照明されて、電源がはいったことを知らせます。
電源を切る場合には、レバーをさげて〝OFF〞にしてください。

❸ SIGNAL メーター

電波の入力レベルを示すメーターです。
メーターの針が右へもっとも大きく振れるように選局ツマミ ❻ で調整してください。

SIGNAL メーター の針がこの範囲にあれば、受信状態としては良好です。
もし、この範囲からはずれるような場合には、屋外に FM 専用アンテナを建てるか、セット及びバーアンテナの向きを変えるかなどして受信状態を良くし、メーターの針が常にこの範囲に入るようにしてお聞きください。

❹ FM TUNING メーター

FM 放送をお聞きいただく場合、SIGNAL メーターの針が右へもっとも大きく振れるように調整したあと、更にこのメーターの針が〝中央〞へくるように 選局 ツマミ ❻ で調整しますと、最良の同調点が得られます。
なお、このメーターは AM 放送の場合には振れません。

❺ SELECT

FM MONO :

FM AUTO :

AM :

ターは点灯しません。

⑥ 選局 ツマミ

FM放送並びにAM放送を選局するツマミです。

スイッチ

電波が弱いため、雑音で折角のFMステレオ放送がうまく受きない所では、FMステレオでなくなり、FM放送(モノ)と受信されますが雑音はとても小さく聞きやすくなります。
放送をお聞きいただく場合、この位置にしますとFM放送はレオで、またFMモノ放送はモノホニックとして自動的に切わります。
はこの位置でお聞きください。
"FM AUTO" の状態にしますとFM MUTING回路が働きので、FM放送及びFMステレオ放送を選局する際に生ずるうな局間雑音はなくなります。

・電波事情の悪い地域でお聞きいただく場合、ミューティング回路の働きで放送まで消えてしまうことがあります。そのような所では屋外にFM専用アンテナを建てるか、または "FM MONO" に切り替えてお聞きください。

中波)放送をお聞きいただく場合、この位置にします。

使いかた

「接続図」の項をご参照のうえ、ステレオ アンプ及びアンテナを結線してから本機及びステレオ アンプのPOWERスイッチを "ON" にします。

■ FM放送の聞きかた

1. SELECTOR スイッチ ❺ を "FM AUTO" にします。
2. 選局 ツマミ ❻ を回して放送を選びます。この場合SIGNAL メーター ❸ の針が右へもっとも大きく振れるように、またFM TUNING メーター ❹ の針は "中央" へくるように選局 ツマミ ❻ で調整してください。

   (注)・SIGNAL メーター ❸ の針が目安として "2" 以下になりますと、"STEREO" インジケーターが点灯していても雑音で聞き苦しい場合があります。
   そのような場合には、屋外にFM専用アンテナを建ててメーターの針が "2" 以上振れるように調整してみてください。
   いろいろな事情でどうしてもアンテナの調整ができないかたは、SELECTOR スイッチ ❺ を "FM MONO" に切り替えてお聞きください。

3. FMステレオ放送を受信した場合には、"STEREO" インジケーター ❶ が点灯します。

   (注)・FMモノ放送及びAM放送の場合には、いずれも "STEREO" インジケーターは点灯しません。

■ AM放送の聞きかた

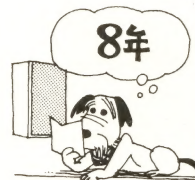
1. SELECTOR スイッチ ❺ を "AM" にします。
2. 選局 ツマミ ❻ を回して放送を選びます。この場合SIGNAL メーター ❸ の針が右へもっとも大きく振れるように選局 ツマミ ❻ で調整してください。

ステレオ アンプの操作に関しては、アンプ側の取扱説明書をご参照ください。

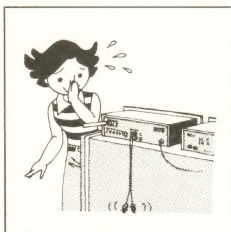
修理依頼

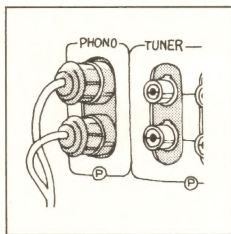
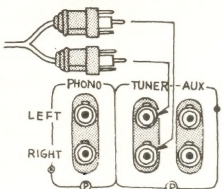
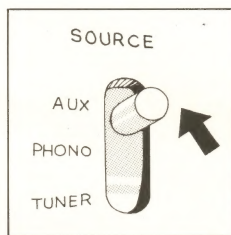
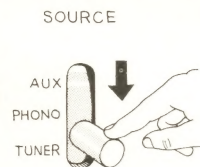
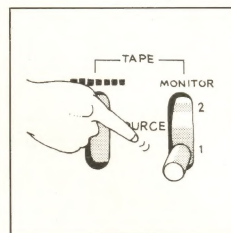
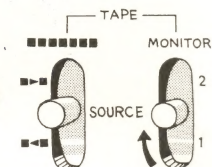
もしもセットに異常があった場合には、**「故障？ と思う前に」の項をよくお読みいただき、お手数でももう一度点検してみてください。**
同じような状態が続いて起こるような場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、**「お名前」、「住所」、「電話番号」、「型名」、「製造番号」、「故障状態をできるだけ詳しく」**お買いあげいただいたビクター特約店、または弊社のサービス・センターまでご連絡ください。
なお、お約束した日時に都合が悪くなられたお客様は、できるだけ早く事前にお知らせください。

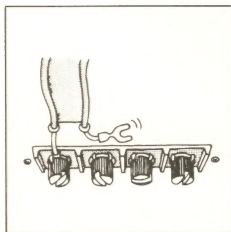
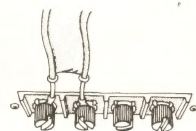
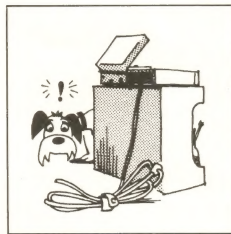
補修用性能部品の保有期間

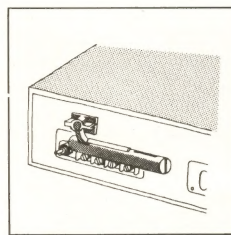
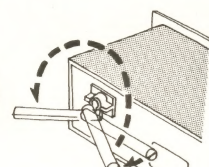
FMチューナーの補修用性能部品の最低保有期間は８年です。
なお、詳しくはお買いあげいただいたビクター特約店、または弊社のサービス・センターまでご相談ください。

故障？ と思う前に

おや？ 故障かな？ と思ったら
修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください

■ 放送がはいらない

コード類がはずれていませんか。

接続コードは、確実にさしこみます。

アンプへの接続を間違えていませんか。

本機の出力コードをアンプ側の〝TUNER〞(チューナー)端子に接続します。

アンプ側のソース スイッチが、〝PHONO〞(フォノ)または〝AUX〞(エイユーエックス)になっていませんか。

ソース スイッチを〝TUNER〞(チューナー)にします。

アンプ側のテープ スイッチが MONITOR(モニター)になっていませんか。

テープ スイッチを放送のはいる位置にします。

■ 雑音で放送が聞き苦しい

アンテナがはずれていませんか。

アンテナを接続します。

添付の FM アンテナを束ねたまま床などに放っていませんか。

アンテナをもっとも受信状態のよい方向にぴーんと張ってお使いください。

バーアンテナが裏面のパネルに近づいていませんか。また、バーアンテナの向きも変えてみましたか。

バーアンテナを裏面のパネルから離し、バーアンテナの向きも変えてみてください。

近くでテレビを見たり、電気器具などを使用していませんか。

できればテレビを消すか、電気器具の使用をやめてください。

仕様

使用半導体	トランジスター	7	
	ダイオード	5	
	FET	1	
	IC	3	
FM チューナー部	受信周波数	76MHz～90MHz	
		モノーラル	ステレオ
	実用感度	1.9μV/300Ω (10.7dBf IHF)	—
	50dB S/N 感度	4.0μV/300Ω (17.2dBf IHF)	40μV/300Ω (37.2dBf IHF)
	S/N	72dB	68dB
	全高調波歪率 100Hz	0.2% 以下	0.4% 以下
	1kHz	0.2% 以下	0.4% 以下
	6kHz	0.2% 以下	0.4% 以下
	キャプチャー レシオ	1.0dB 以下	—
	実効選択度	62dB 以上	—
	IF 妨害比	90dB 以上	—
	スプリアス妨害比	75dB 以上	—
	AM 抑圧比	55dB 以上	—
	チャンネル セパレーション 100Hz	—	30dB 以上
	1kHz	—	40dB 以上
	10kHz	—	30dB 以上
	サブ キャリアリーク抑圧比	—	50dB 以上
	周波数特性	30Hz～12kHz $^{+0.5}_{-2.5}$dB	
	ディ・エンファシス特性	50μ sec	
	出力信号レベル	650mV／5kΩ (400Hz、100%変調)	
	アンテナ	75Ω 不平衡型、300Ω 平衡型	
AM チューナー部	受信周波数	525kHz～1,605kHz	
	実用感度	300μV/m (バーアンテナ)	
		50μV (外部アンテナ端子)	
	全高調波歪率	0.5% 以下	
	S/N	50dB 以上	
	選択度	35dB 以上	
	イメージ妨害比	45dB 以上	
	IF 妨害比	45dB 以上	
	出力信号レベル	650mV／5kΩ (400Hz、100%変調)	
	アンテナ	バーアンテナ	
		外部アンテナ端子付	
電源部・その他	電源電圧	AC 100V (50Hz、60Hz 両用)	
	消費電力	6 W (〒 電気用品取締法)	
	重量	4.0kg (ダンボール ケースは含みません)	

付属品
簡易型FM アンテナ ························ 1
シグナル コード(1.2m) ················· 1

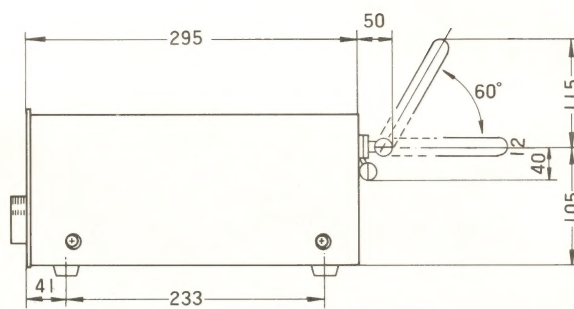
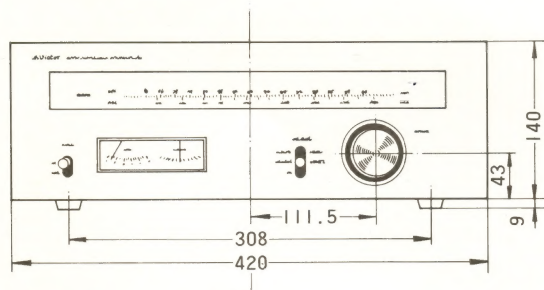
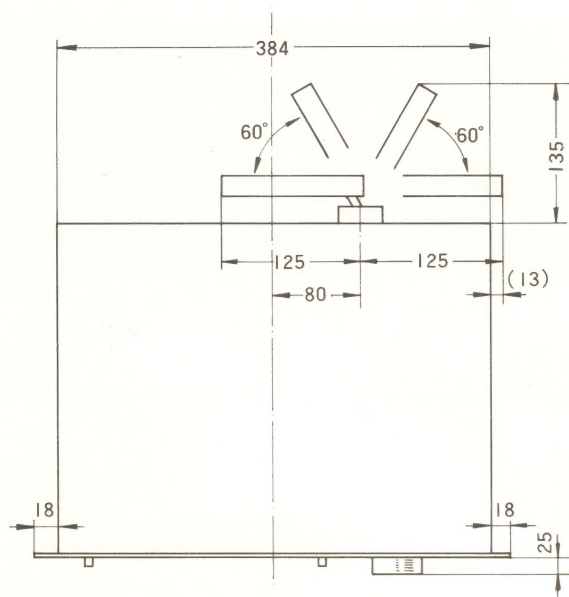
(注)・IHF：米国のハイファイ協会
(Institute of High Fidelity Incorporation)

・本機の仕様及び外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

寸法図

384
60°
60°
135
125
125
80
(13)
18
18
25

140
43
9
111.5
308
420

295
50
60°
115
12
40
105
41
233

日本ビクター株式会社　ステレオ事業部

所在地　〒242 神奈川県大和市下鶴間甲の10号1644番地　TEL (0462) 74－2121(代表)
本社事務所　〒103 東京都中央区日本橋本町４丁目１番地　TEL (03) 241－7811(代表)

E 30530－810 A